

YOU医療保健福祉フォーラム2013

主催：特定非営利活動法人 宝塚総合福祉研究所

後援：伊丹市、宝塚市、川西市、（社）兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会、（社）日本作業療法士協会、（社）全国訪問看護事業協会

『住み慣れた地域で安心した生活を ～ 予防・医療そして旅立ち ～』

総合司会：中村珠実子

第Ⅰ部

基調講演

地域医療の大切さ～ 多くの看取りを経験して～

中村俊紀 先生（医療法人旭医道会 中村クリニック院長）

パネリスト

大巻 悦子氏（森ノ宮医療大学教授、保健師）

大平 仁子氏（中村クリニック、医療ソーシャルワーカー）

本庄 美代子氏（訪問看護センターYOU、看護師）

上野山 栄作氏（京都グリーンケア協会理事長、（株）オレンジライフ代表取締役）

第Ⅱ部

T e Nミニライブ

無料相談会（相談員：看護師、作業療法士、保健師、弁護士）

YOU医療保健福祉フォーラム2013

主催：特定非営利活動法人 宝塚総合福祉研究所

後援：伊丹市、宝塚市、川西市、（社）兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会、（社）日本作業療法士協会、（社）全国訪問看護事業協会



基調講演

地域医療の大切さ ～ 多くの看取りを経験して～

中村俊紀 先生
（医療法人旭医道会 中村クリニック院長）

はじめに

「どうすれば患者さんに満足を感じてもらえるか」
我々の思いはこの一点にある。患者さんの満足は我々サービス提供者側の満足である。1999年の開業、訪問診療開始以来、一貫して良質な医療の提供を追及し続けている。

在宅医療は各職種間の連携無しでは成り立たない。異なる職種、事業者同士の密接な関係が良質なサービスの大前提である。その為には日頃からお互いの顔が見える連携体制を構築し、同じ目標、思いを共有できる人間関係を成立させることが肝要である。我々は医師の指導の下に各職種が協力し合うという今までの固定観念を捨て、患者さん、家族を中心に介護関係者、医療関係者が並列の関係でサポートすることをめざしている。

中村クリニックグループの診療体制

- 診療施設構成 : 強化型在宅支援診療所
(4施設)
- 診療業務 : 外来+訪問診療
- 訪問診療スタッフ
常勤医 7名、非常勤医 9名
訪問看護師 常勤10名 非常勤8名
- 訪問地域 : 大阪市以南
- 2012/12月末現在 約400名が在宅患者として登録されている

中村クリニックの診療科目

- 標榜科目 内科 循環器科
- 常勤医師の専門科目
内科 外科 呼吸器内科 循環器科
心臓血管外科
- 非常勤医師の専門科目
糖尿病代謝内科 精神科 放射線科
消化器内科
- 連携医療機関
皮膚科 泌尿器科 眼科 整形外科 耳鼻
咽喉科 小児科 内科 外科 特養診療所
- 当院だけでもある程度の科目が診察可能
です。

自宅のイメージ

部屋の好きな場所において
お気に入りの食器を使い
好きな物を好きな時に食べ
自由にテレビを見て
ペットもいれば
家族もおり
一人が好きなら一人にもなれる
お酒を飲み
タバコを吸える

最高の特別室である

顔の見える連携の為の取り組み

- 勉強会

当院が呼びかけたり、逆に依頼をいただく事もあります。

- 集まり(新年会、忘年会等)

に招待したり、されたり

どちらかと言えば好きです

- 一緒に遊んでます。

釣り ゴルフ バーベキュー等

かなり好きです

- 極力断らない

遠隔地への往診依頼など

- 昼の休診時間帯もクリニックは開けてます

- 個人的な相談も受けてます

子供さんの進路相談や家庭の問題なども…

- ボクシング、アイススケート、柔道大会、プロレス等のイベントDr.

無料で観戦できるしね

我々が学んだこと

①患者さんに対して

亡くなろうとしている患者さんは
我々の先達である

②患者家族に対して

最愛の人を失おうとしている悲しみが強い
自分が患者さんを看取らなければならないというプレッシャー
患者さんが亡くなった後も生き続けなければならない

我々の出来るだけしようとしている対応

①患者さんに対して

できるだけ正直に誠実に

②患者家族に対して

- ・負担を減らすべく医療・介護ソースの提供をする
- ・自然体で良い事を伝える
- ・亡くなった後や通夜・葬式に出席したり
お参りをすることで思い出を話す